



帯広開発建設部 Web広報誌  
【H26.2.21 第7号】

平成26年2月17日低気圧による暴風雪災害に対処するため、帯広開発建設部では平成26年2月18日 応援対策本部を設置し、帯広開発建設部職員2名及びロータリ除雪車が釧路開発建設部へ応援のため出動しました。活動状況をお知らせいたします。



2月18日板倉部長(左から2番目)を本部長とし、応援対策本部を設置。



テレビ会議にて(北海道開発局、帯広開発建設部、釧路開発建設部、網走開発建設部参加)被災状況報告・今後の方針決定。



板倉部長より、十勝管内の国道通行止に関する情報等被害状況を報告。



2月18日、釧路開発建設部へ出動した職員が到着し、石田部長(右から1番目)より被害状況を確認。



2月19日、国道272号線を作業するロータリ除雪車。



2月20日、応援職員が帰庁し、板倉部長へ活動状況を報告。

## ロータリ除雪車(多機能型)

今回出動した多機能型ロータリ除雪車とは、除雪トラックとロータリ除雪車の各々の機能を兼ね備えた新型の除雪車両です。

### 主要諸元

最大除雪量	2,300t/h 以上
投雪距離	0 ~ 40 m
最大除雪幅 (ロータリ装置装着時)	2.6 m
最大除雪幅 (プラウ装置装着時)	3.0 m
最大除雪幅 (路面整正装置)	2.9 m
最小除雪幅 (路面整正装置)	2.45m
最大除雪高 (ロータリ装置装着時)	1.7 m
最大除雪高 (プラウ装置装着時)	0.55 m
走行速度 (ロータリ装置装着時)	49 km/h

◎ ロータリ除雪装置とプラウ装置は、簡易方式により交換可能

